

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 4 年 3 月 30 日 (2022.3.30)

【公開番号】 特開 2020-160910 (P2020-160910A)
【公開日】 令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)
【年通号数】 公開・登録公報 2020-040
【出願番号】 特願 2019-60951 (P2019-60951)
【国際特許分類】

G 1 6 H 30/00 (2018.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 1 6 H 30/00

A 6 1 B 5/00 G

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 3 月 17 日 (2022.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

読影依頼に係る一次読影において、第一の読影医により入力された第一の読影結果に含まれる所見の数を示す第一の所見数と、
前記読影依頼に係る二次読影において、第二の読影医により入力された第二の読影結果に含まれる所見の数を示す第二の所見数と
を取得する取得手段と、
前記取得手段で取得された前記第一の所見数と前記第二の所見数とに関する所定の条件が満たされる場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行う制御手段と、
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記所定の条件は、前記第一の所見数と前記第二の所見数との合計が閾値以上、または閾値より大きいことを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記取得手段は、前記第二の読影結果に含まれる所見のうち、前記第一の読影結果に含まれる所見と同一の所見を除いた数を、前記第二の所見数として取得することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記取得手段は、前記第二の読影結果に含まれる所見のうち、前記第一の読影結果に含まれる所見が認められるシェーマ上の位置から所定範囲内の位置に係る所見を除いた数を、前記第二の所見数として取得することを特徴とする、請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記取得手段は、前記第二の読影結果に含まれる所見のうち、前記第一の読影結果に含まれる所見のコメントと同様のコメントを有する所見を除いた数を、前記第二の所見数として取得することを特徴とする、請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

10

20

30

40

50

前記所定の条件は、前記第一の所見数と前記第二の所見数との差に関する条件であることを特徴とする、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記所定の条件は、前記第一の所見数と前記第二の所見数との平均値に関する条件であることを特徴とする、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、前記所定の条件が満たされない場合であっても、前記第一の読影結果と、前記第二の読影結果との少なくとも一方に、

特定の判定結果が含まれていた場合、

特定の所見名が含まれていた場合、

特定の部位の所見が含まれていた場合、

の少なくともいずれかの場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記制御手段は、前記所定の条件が満たされない場合であっても、前記第一の読影結果と、前記第二の読影結果との少なくとも一方に含まれる、判定結果、所見名、部位の少なくとも 1 つに関する重要度が特定の条件を満たす場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

読影依頼に係る一次読影において、第一の読影医により入力された第一の読影結果と、前記読影依頼に係る二次読影において、第二の読影医により入力された第二の読影結果と

に関する情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した情報に基づいて、前記第一の読影結果と、前記第二の読影結果との少なくとも一方に、

特定の判定結果が含まれていた場合、

特定の所見名が含まれていた場合、

特定の部位の所見が含まれていた場合、

の少なくともいずれかの場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行う制御手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 11】

読影依頼に係る一次読影において、第一の読影医により入力された第一の読影結果と、前記読影依頼に係る二次読影において、第二の読影医により入力された第二の読影結果と

に関する情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した情報に基づいて、前記第一の読影結果と、前記第二の読影結果との少なくとも一方に含まれる、判定結果、所見名、部位の少なくとも 1 つに関する重要度が特定の条件を満たす場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定する

ための制御を行う制御手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 12】

前記特定の条件は、前記第一の読影結果に含まれる前記重要度に基づく第一の重要度と、前記第二の読影結果に含まれる前記重要度に基づく第二の重要度とのうち少なくとも一方が閾値以上、または閾値より大きいことを含むことを特徴とする請求項 9 または 11 に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記制御は、読影医の割当枠を生成する制御であることを特徴とする、請求項 1 乃至 12

10

20

30

40

50

の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 1 4】

前記二次読影は、前記第一の読影結果を閲覧せずに前記第二の読影医により行われる読影であることを特徴とする、請求項 1 乃至 1 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 1 5】

前記制御手段は、前記制御に基づいて前記第三の読影医を決定することを特徴とする、請求項 1 乃至 1 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 1 6】

前記制御手段は、前記第三の読影医を決定するための画面を生成するように制御し、前記画面におけるユーザからの指示に応じて、前記第三の読影医を決定することを特徴とする、請求項 1 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 7】

前記読影依頼は、依頼施設から読影センターに送信された読影依頼であることを特徴とする、請求項 1 乃至 1 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 1 8】

読影依頼に係る一次読影において、第一の読影医により入力された第一の読影結果に含まれる所見の数を示す第一の所見数と、

前記読影依頼に係る二次読影において、第二の読影医により入力された第二の読影結果に含まれる所見の数を示す第二の所見数と

を取得する取得ステップと、

前記取得ステップで取得された前記第一の所見数と前記第二の所見数とに関する所定の条件が満たされる場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行う制御ステップと、

を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 1 9】

読影依頼に係る一次読影において、第一の読影医により入力された第一の読影結果と、前記読影依頼に係る二次読影において、第二の読影医により入力された第二の読影結果と

に関する情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップで取得した情報に基づいて、前記第一の読影結果と、前記第二の読影結果との少なくとも一方に、

特定の判定結果が含まれていた場合、

特定の所見名が含まれていた場合、

特定の部位の所見が含まれていた場合、

の少なくともいずれかの場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行う制御ステップと、

を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 2 0】

読影依頼に係る一次読影において、第一の読影医により入力された第一の読影結果と、前記読影依頼に係る二次読影において、第二の読影医により入力された第二の読影結果と

に関する情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップで取得した情報に基づいて、前記第一の読影結果と、前記第二の読影結果との少なくとも一方に含まれる、判定結果、所見名、部位の少なくとも 1 つに関する重要度が特定の条件を満たす場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行う制御ステップと、

を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 2 1】

すくなくとも 1 つのコンピュータを、請求項 1 乃至 1 7 の何れか 1 項に記載された情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

10

20

30

40

50

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

本発明に係る情報処理装置は、

読影依頼に係る一次読影において、第一の読影医により入力された第一の読影結果に含まれる所見の数を示す第一の所見数と、

前記読影依頼に係る二次読影において、第二の読影医により入力された第二の読影結果に含まれる所見の数を示す第二の所見数と

10

を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得された前記第一の所見数と前記第二の所見数とに関する所定の条件が満たされる場合に、前記読影依頼に係る三次読影を行う第三の読影医を決定するための制御を行う制御手段と、を有することを特徴とする。

20

30

40

50